

平成 28 年度学群編入学試験

生命環境学群地球学類

学 力 検 査

(専門科目)

問 題 冊 子

注意事項

- ① 問題 I ～IVの全問題について解答すること。
- ② 解答用紙は各問題に対して 1 枚使用し、それぞれの解答用紙には「問題 I」のように問題番号を明記すること。
- ③ 解答が書ききれない場合には、「裏へ」と明記して、その解答用紙の裏面に続けて書くこと。
- ④ 試験時間は 120 分です。

問題 I 陸源性堆積岩の一つであるタービダイト（混濁流堆積物）について説明しなさい。

問題 II 化石および古生物に関する以下の用語について、具体的な例を挙げて説明しなさい。

- (1) 示準化石 (2) 示相化石 (3) 分子化石（バイオマーカー）

問題 III 日本では毎年のように豪雨にともなう自然災害が発生する。山地と平野それぞれにおいて、(1)これらの災害がどのようにして発生し、(2)どのような条件で被害を生じるかについて、説明しなさい。

問題 IV 地上付近の気温や大気循環に対する地表面状態の影響に関して、以下の問いに答えなさい。

(1) 同じ緯度帯の草原が広がる地域に“積雪”が生じるか否かにより、その地域の陸面放射収支はどのように変化し、地上気温にどのような違いが生じるかを、要因も含めて説明しなさい。

(2) 同じ緯度帯で山岳地域が“森林”に覆われているか否かにより、その地域の陸面熱収支はどのように変化し、どのような大気循環の違いが局地的に生じるかを、要因も含めて説明しなさい。